



## 図書館を もっと身近に 暮らしの中に

● 問合先 市民図書館 (☎☎34646)

今年の7月7日で開館25周年を迎える伊万里市民図書館は、全国の図書館関係者からの評価が高く、名実ともに『市民』を冠するにふさわしい図書館だと言われます。市民と行政の協働で建設計画が進められ、滞在型図書館の先駆けともなりました。また、約7割の市民が利用者登録しており、さまざまな図書館ボランティアの皆さんが献身的な活動を展開しています。

でも、ちょっと気になるデータがあります。昨年度1年間に実際に本を借りた人の数は7310人です。この人たちは年間平均40冊も借りていますが、その他の8割強の市民は一冊も借りていないのです。書店やインターネットで、たくさん本を購入しているのかもしれませんが、読書の二極化現象が伊万里でも起きていないか心配です。

市民図書館は、すべての市民の知的自由を確保するために建設されました。かけがえのない市民共有の財産です。豊富な蔵書から好きな本を、無料で冊数の制限なしに借りて読むことができます。本に関するさまざまなグループ活動ができる集会室やスペースも用意されています。

図書館を、もっと身近に利用してください。あなたの暮らしの中に役立たせてください。そんな思いを込めた今月の『特集』です。



# おめでとう！市民図書館 25 周年！

## 平成 7 年 7 月 7 日

▷市民図書館開館…①



①市民図書館開館セレモニー



平成 7 年 7 月号『広報伊万里』で特集しました



↑市民図書館の 25 歳を祝うケーキ

## 平成 27 年度

- ▷市民図書館開館 20 周年事業
- ▷図書館フレンズいまりが 20 周年記念誌を作成

## 平成 28 年度

- ▷『伊万里市民図書館と学校図書館を使った調べる学習コンクール』開始
- ▷図書館フレンズいまりと市民図書館が Library of the Year 2016 特別賞を受賞
- ▷新・ぶっくん 2 号出発式
- ▷通算の貸し出しが 11,111,111 冊に…②



②開館 22 年目の快挙

## 平成 29 年度

- ▷市民図書館の改修工事（照明の交換、壁面塗装、ホールプロジェクター更新）

## 平成 30 年度

- ▷肥前さが幕末維新博覧会の開催に合わせて関連図書を展示し、さらに謎解きイベント、ミステリー作家トークショー＆サイン会、森永太郎ワークショップを実施…③
- ▷学校図書館電算化により、図書館を使った調べる学習コンクールの充実
- ▷高齢者向け『いきいき音読教室』を開始



③森永太郎ワークショップ

～ 時代は平成から令和へ ～

## 令和元年度

- ▷さが総文マスコットキャラクターの『あさぎちゃん』が一日図書館長に…④
- ▷対面朗読草ひばりが子どもの読書活動優秀実践団体として、文部科学大臣表彰受賞
- ▷西九州させほ広域都市圏連携事業を開始



④あさぎちゃん、館長のお仕事頑張りました



図書館フレンズいまり  
代表 松永 真治 さん

### 市民図書館とともに歩み続けた 25 年

図書館フレンズいまりは、前身の『図書館づくりをすすめる会』から生まれ変わり、発足して 25 周年を迎えました。基本理念『協力と提言』を守りつつ、皆さんの理解を得ながら、変えるべきところは時代に合った形に変えていくことが、現在の会に求められていることではないでしょうか。これからも市民に愛される市民図書館であるために、会にできることを日々模索しながら、ともに歩んでいきたいと思えます。

# 便利で毎日の暮らしに

ひととまちを育てる学びの場



市民図書館は、皆さんにとってどんな存在でしょうか。読書好きな人のためでしょうか。あるいは勉強熱心な人のためでしょうか。

いえいえ、市民図書館は市民皆さんのものです。それは、『市民図書館の設置条例・第1条』を見れば分かります。

『伊万里市は、すべての市民の知的自由を確保し、文化的かつ民主的な地方自治の発展を促すため、自由で公平な資料と情報を提供する生涯学習の拠点として、伊万里市民図書館を設置する。』

つまり、市民図書館は、市民の情報拠点であり、生涯学習の場でもあります。伊万里のひととまちを育てる学びの場所として設置されています。

## 役立つ図書館

好きな本を何冊でも

さあ、さっそく市民図書館で本を借りてみましょう。

市民図書館には38万点の資料が所蔵されています。たくさんの中から選ぶのは楽しいけれど、どれにするか悩みますよね。

どうぞ、どれでも借りてください。市民図書館の本や雑誌は1人何冊でも借りることができます。貸出期間は2週間です。(ただし、CDは3点まで、DVDは2点まで。絵画は1点・貸出期間は1か月) 人気ブロガーの料理レシピや、気になる小説家の新作、子どもと楽しむ絵本やDVDなど、あれもこれも市民図書館で、無料で借りる…。そんな使い方ができますよ。



スマホがあればもっと便利

市民図書館のホームページには、スマートフォンサイトもあります。ここから図書館の所蔵を検索することができます。さらにその本を予約することも可能です。テレビや新聞で気になる本があったら、スマホでポチッと予約を。あとは市民図書館から連絡が来るまでお待ちください。

### 利用カードを忘れても、スマホがあれば大丈夫

スマホに利用カードを表示することができます。  
※ただし、本人のログインが必要です。



『スマホ版蔵書検索』をタッチ

Myライブラリをタッチ

利用カード番号とパスワードを入力。不明な場合、図書館に問い合わせてください

『利用者情報』→『利用カード』をタッチ

利用カードが表示されます



市民図書館 HP →

### これで忘れない！ 返却日通知メール



『Myライブラリ』→『利用者情報変更』が変更可能日・3日前から選択できます

ぶつくんも利用してください

市では、2台の自動車図書館『ぶつくん』が市内を巡回しています。

74ステーションを3週間かけて巡回しています。市民図書館が遠い人、市民図書館の利用が不便な人は、『ぶつくん』を利用してみませんか。

また、予約の本を『ぶつくん』のステーションで受け取ることもできます。受取場所を選んでください。日時は『ぶつくんカレンダー』で確認できます。

今年度から、各コミュニティセンターにも巡回が始まりました。地域に根差したサービスを提供します。





# 学習や調べものに

## 役立つ図書館

### ゆつくんじゆくへんが学べる環境

市民図書館を、書齋代わり  
にできるなんて、ユニークだ  
と思いませんか。  
和室や、個人用の席、グルー  
プで使用できる席など、市民  
図書館には、たくさんのお席  
があります。

ゆつくりじゆくり調べもの  
をしたい、読書に集中する空  
間が欲しい、そんな時は、書  
齋代わりに市民図書館を使っ  
てみませんか。特に伊万里学  
コーナーは、館内放送やBGM  
がない、館内では最も静か  
なエリアです。

### 読みたい気持ちを応援

推理小説が好きだけど、一  
体どれが面白い？子どもに  
ファンタジーを勧めたいのだ  
けれど…。

そんな時は気軽に図書館員

に尋ねてください。どの窓口  
でも、読書に関する相談を受  
けます。

また、書架の間にある企画  
展示コーナーでは、旬のテー  
マに沿った本や話題のおすす  
めの本を並べています。ぜひ、  
手に取って利用してください。

### 調べものに役立つサービス

市民図書館の資料を使って  
の事実調査や文献の検索、所  
蔵の調査などには、検索方法  
や回答などを提供する『レ  
ファレンス・サービス』を行っ  
ています。

市民図書館に所蔵が無い本  
は、他の図書館や県立図書館、  
さらには国立国会図書館から  
借り受けて提供する『相互貸  
借』というサービスも行って  
います。

夏休みの自由研究や調べる  
学習の宿題など、子どもデス  
クでもレファレンスを行って  
います。「知りたいな」、「調べ  
たいな」と思ったら、どうぞ  
気軽に相談してください。

### 検索のしかたで見つかる本が変わる。 レファレンス・サービスってすごいですね

山口さんは、家族が片方の耳が聞こえにくくなる、片耳難聴を患っていることをきっかけに、片耳難聴について調べ始めました。しかし、自力で検索しても資料がほとんど見つからず、市民図書館のレファレンスを利用することに。「司書の方に調べてもらおうと、ちゃんと見つかるんです」と話す山口さん。多いときは週3〜4回ほど来館し、レファレンスを利用したそうです。館内に無いものは、国立国会図書館など他の図書館から取り寄せてもらい、『片耳難聴の会』の立ち上げにつながりました。



山口 眞丘 さん（松浦町）

### 伊万里を学ぶ

#### 『伊万里学コーナー』

その土地に文化が育つかど  
うかは、ふるさとを温かく見  
つめ、ふるさとが持つ可能性  
を伸ばそうと努める人がそこ  
にいるかどうかで決まる、と  
言われます。そのためには、  
何よりもふるさとの歴史を学  
び、先人の知恵に新たな価値  
を見出す学習が大切だろうと  
いうのが、伊万里学の起り  
であり、このコーナーの由来  
です。（『伊万里学コーナーに  
掲げる言葉』より、一部抜粋）  
主に伊万里の歴史や文化に  
関する資料を収集・保存して  
います。このほか、まちづく  
りや地域活性化につながる図  
書や雑誌、市が発行した資料  
などもあります。  
ぜひ地域の課題解決のため  
に、役立ててください。



↑伊万里学コーナーの  
『森永太郎展示コーナー』

### 伊万里市民図書館 ここが自慢！

- ① 市民との協働の運営で、全国でも評価が高い市民図書館。年間平均96件、564名の視察・見学を受け入れている
- ② 同規模自治体(79市区)で全国7位の蔵書数(38万冊)。県内10市でも人口当たりの蔵書冊数は1位(7.16冊/人)
- ③ 利用カードを持っている人は市内に37,372人。登録率はなんと約7割(68.9%)
- ④ 国立国会図書館の151万点もの膨大な資料が読める『デジタル化資料送信サービス』(図書、論文、古典籍 など)
- ⑤ 自動車図書館『ぶつくん』2台が市内各地を巡回。保育園・幼稚園での出前おはなし会は、年間481回

# 本と人がつながる図書館

## 学校や保育園とつながる

子どもの読書環境を整えることは、図書館の大切な役割の一つです。市内の学校図書館と連携し、先生の学習に役立つ本を運んだり、授業に使用する資料を貸し出したりしています。

また、ぶつくんでは、保育園などで紙芝居や絵本の読み語りを行い、読書が好きなお友だちになってもらう工夫をしています。

こうしたネットワークを結ぶことで、市民図書館から遠い地域に住む子どもたちにも、本を手渡すことができます。

## ボランティアとつながる

市民図書館ではボランティアの活動が活発です。子どもたちにおはなしの世界を広げる活動を行う『おはなしキャラバン』。読書に配慮を必要とする人や高齢で文字が読みづらい人に対面朗読をする『対面朗読草ひばり』。優しさと温もりを伝える布絵本を制作する『てんとうむしの家』。

美しい言葉と旋律で、童謡や唱歌を歌う『いすの木合唱団』。そして、『協力と提言』を合言葉に、図書館を守り育てる『図書館フレンズいまり』など、多彩な人たちが多様な活動で、市民図書館を支えています。



→いすの木合唱団（令和元年度図書館☆まつりの様子）



↑図書館フレンズいまり主催の俳句まつり

## うちどく（家読）でつながる

うちどくとは、家族で読書の習慣を共有することです。同じ本を読みあつたり、感想を話してみたり、家族でのコミュニケーションに本を使ってみませんか。

「うちどくなんて難しい」なんて思わずに、気楽に『わが家のルール』を作ってみましょう。楽しい本があったら話してみる、リビングで一緒に読書タイムを設ける、休日は家族一緒に市民図書館に行く…なんてことも、うちどくです。

うちどくについての情報は、市民図書館のホームページをご覧ください。



↑うちどくの様子

## 『おめでとう de アート』を開催

今年度の『図書館☆まつり』は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止となりました。

そこで、市民図書館の開館 25 周年を祝い、市民の皆さんからの『おめでとうメッセージ』を集め、大きな絵にします。どんな絵が完成するのか、お楽しみに。

ぜひ、メッセージカードを書いて参加してください。詳しくは、市民図書館の窓口まで。

## 市民図書館 開館情報



### ●開館時間

火曜日～木曜日：午前 10 時～午後 6 時

金曜日：午前 10 時～午後 8 時

土・日曜日・祝日開館日：午前 10 時～午後 6 時

※休館日は、市民図書館のホームページやデスクで配布している『図書館カレンダー』で確認してください。

## 市民図書館は、あなたにとってかけがえのない場所、なくてはならない場所になっているでしょうか

世の中は便利になって、読みたい本はネットで注文さえすれば、翌日には自宅に届く時代になりました。にもかかわらず若者の読書離れは、よくニュースで見聞きするところです。スマホやゲーム・動画などに時間をとられているのは、中・高生だけに限らないようにも感じます。市民図書館が全国的に高い評価を得ている最大の理由は、市民が行政とともに作り上げ、ともに運営に携わってきたその歴史と実績です。25 年のこれまでとこれからを決めるのも、やはり市民の皆さんです。どうぞ、気軽に足を運んで、市民図書館の新たな可能性をさらに引き出してください。



市民図書館長  
こうかみ 鴻上 哲也